

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 9月号

令和 8年 9月 1日

校長 楠山 小百合



夏から秋へ



～ 希望の光が輝く優しい汐小 ～

前期後半がスタートしました。子どもたちの元気な姿とにぎやかな声が、学校にもどってきました。まだ暑い日は続きそうですが、朝夕の汐風に秋の気配も感じられるようになりました。屋上の田んぼでは稲の花が咲き、穂をつけ始め、「実りの秋」を迎えようとしています。子どもたちにも夏の経験を生かして、これからの学習一つ一つを大切に、さらに力を伸ばして「実りの秋」へとつなげてほしいと思います。

秋は、運動会をはじめ6年生の修学旅行など、子どもたちにとっても今までの学習の成果を発表したり、節目となる行事が続きます。様々な活動を通して、今までの学びを振り返り、自分の成長を確かめる機会にしていきたいと思います。

今年の学校のスローガンは、「希望の光が輝く優しい汐小」です。運営委員会を中心にして、それぞれの学級の意見を一つにまとめて決めました。今の汐見台小学校にふさわしい、心が温かくなるすばらしいスローガンだと思います。体育館の窓に貼られたスローガンの文字は、各学級でデザインし、みんなで協力して完成させました。一枚一枚が個性豊かなすてきな作品です。子どもたちの自主性や主体性を大切にしながら、豊かな人間関係が築けるように教育活動を進め、未来を切り開くたくましい子どもたちを育てていきたいと思います。



令和8年度

「平和について」

ポスター・作文コンテスト

教育長賞

三厨 咲奈さん



学校では様々な学習を行っています。子どもたちに深く考えてほしいテーマの一つが「平和」です。世界に目を向けることも大切ですが、小学生の子どもたちにとって平和は決して遠い話ではありません。

この夏、6年生が茅ヶ崎市の「平和について」ポスター・作文コンテストに応募し、三厨咲奈さんが教育長賞に入賞しました。

三厨さんは、ピーストレイン平和大使として広島を訪れ（8/5～7）、平和記念式典等に参加。その貴重な経験を「平和のつどい」（8/15）で堂々と発表してくれました。

私は、学校生活における平和とは「自分も周りの友達も、みんなが笑顔で安心して過ごせること」だと考えています。友達が困っているときに「どうしたの？」と声をかけること、自分と違う意見があっても「なるほど、そういう考えもあるんだね」と耳を傾けること、そしてお互いの良さを認め合うこと。こうした日々の小さな思いやりや行動の積み重ねこそが、平和の第一歩です。相手を大切にする心は、目の前の友達だけでなく、やがて世界の人々を大切にする心へとつながっていきます。

ご家庭でもぜひ、お子様と「みんなが笑顔で過ごすためにできること」についてお話ししてみてください。学校でも引き続き、一人ひとりが安心して学べる温かい環境づくりに努めてまいります。